



品番 HH-SF0010L

お客様へ

照明器具の取り付けには電気工事を伴います。必ず、販売店、工事店に取り付けをご依頼ください。

取り付け前のご準備

- 既設の電源線の種類をご確認ください。φ1.6mm、φ2.0mmの単線の場合は、そのまま接続できます。

工事店様へ

■施工の前によくお読みのうえ、正しく施工してください。この説明書は必ずお客様にお渡しください。

■施工説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意

（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や

損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を、次の図記号で

説明しています。（下図は図記号の一例です。）



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

■壁面

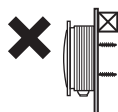
- 次のような場所には取り付けない
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。



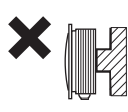
禁止



浴室などの
湿気の多い場所



補強のない場所
（ベニヤ板や
石こうボードなど）



取付面が本体
パッキンより
小さい場所



ボックス取り付け

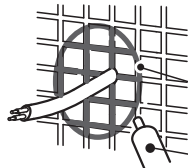
ボックス

- ◎ この器具は防雨型、壁面取付専用です。

- 検知部が下になるように取り付ける
浸水による感電のおそれがあります。

検知部

- 取付面と本体パッキンのスキマおよび
パッキン外周部にシール剤を塗る



パッキン外周部にも
シール剤を塗る

シール剤

本体/パッキンと取付面とのスキマを防水シール剤
などで埋めてください。

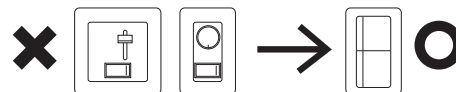
防水が不完全な場合、火災、感電のおそれがあります。

■壁スイッチ

- 調光器が付いた壁スイッチの場合は、
一般の入切用スイッチに交換する
火災のおそれがあります。



必ず守る



- ◎ 調光器の取り外しが必要です。

■その他

- 器具の取り付けは、説明書に従い確実に
行う

取り付けに不備があると、火災、感電、落下
によるけがのおそれがあります。

- 交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれ
があります。

- 電源線は端子台の差込み穴の奥まで確実に
差込む

差し込みが不完全な場合、火災、感電のおそれ
があります。



必ず守る

注意



禁止

- 温度の高くなるものの上に取り付けない
ガス機器やその排気筒の上に取り付けしないでください。
守らないと火災の原因となることがあります。
- 器具に直接日光が当たる状態で点灯させない
温度上昇によるランプ短寿命や一時的な明るさ低下・不点灯の原因となります。



必ず守る

- 付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となります。
- 電源線はランプに触れないようにする
守らないと、火災、感電の原因となることがあります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用
けがのおそれがあります。

施工前のご確認事項

設置場所についてのご注意

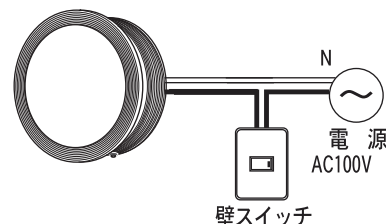
- この器具は、周囲の明るさと温度変化をセンサで検知して動作するため、以下のような場所に取り付けると誤動作の原因となります。

禁止 反射の強い床面のある場所 	禁止 風などでよく揺れる植物の近くなど 	禁止 取付高さが3mをこえる場所 	禁止 換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの近く 	禁止 他の照明器具に近い場所 40cm以内
禁止 交通量の多い道路に面した場所 車など人より大きな熱量の場合、取扱説明書記載の検知範囲より広がります 	禁止 前面に障害物のある場所（透明なガラスも含む） 	禁止 振動の激しいポールなど不安定な場所 	禁止 昼間でも暗い場所や夜間でも明るい場所 	

配線についてのご注意

- 必ず、壁スイッチを設置してください。（スイッチは別途ご用意ください）

- ・センサによる動作に異常が発生したとき、リセット操作に壁スイッチが必要です。
- ・長期間使用しない時や、お手入れの際に電源を切ることができます。
- ・壁スイッチの動作による連続点灯への切り替えができます。



壁スイッチ

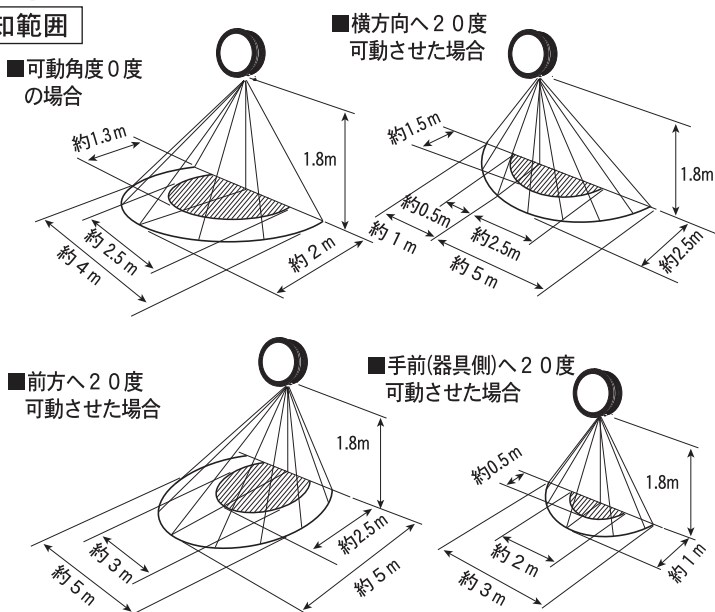
- 通常は壁スイッチをONにした状態でご使用ください。
- ほたるスイッチと接続する場合は1回路につきスイッチ3個まででご使用ください。
(4個以上のほたるスイッチと接続すると、スイッチを切にしても器具が消灯しないことがあります。)
- 壁スイッチにパイロットスイッチを使用すると、壁スイッチがON状態でも照明器具が消灯状態（センサ待機状態）のときは、パイロットスイッチ表示が点灯しない場合があります。(故障ではありません)
- 壁スイッチ1個で2台以上のセンサ照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
- 一般照明器具や換気扇との連動はできません。

検知範囲について

- 検知部は真下にした状態から全方向に約20度可動します。
- センサはおおよそ右図の「検知範囲」で検知します。右図の「検知範囲」を参考にして検知部の角度を調整してください。
(記載の検知範囲はあくまで目安としてお考えください。)
- 器具の取り付け高さ1.8m(標準)～3mの間では、検知範囲は変わりません。
- センサは、人の動きなど温度変化を検知しています。

(注) 斜線は別売エリアカットフード (HK279020) を取り付けした時の検知範囲です。

検知範囲



■センサ動作について

検知しにくくなる場合

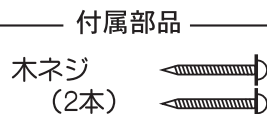
- ・肌の露出部分が少ない場合
(着衣の表面温度は一般的に体温よりも周囲温度に近い)
- ・夏場など周囲温度が体温に近い場合
- ・検知部を可動させ広がった側の検知範囲
- ・検知範囲に入る速度が速い場合
- ・センサの向いている方向に向かって近づいた場合
- ・人が静止しているとき

人がいないのに点灯する場合

- ・近くに照明器具がある場合
- ・道路を通行する人、車、犬、猫などを検知したとき
- ・風、雨、木のゆれなどを検知したとき
- ・急激な温度変化を検知したとき
- ・換気扇などの吹き出し口、給湯器、エアコンの室外機などの温度変化の影響を受けたとき
- ・強力な電波、誘導雷サージなど電氣的雑音を受けた場合
- ・約2秒以内の短い停電(瞬時停電)が起こった場合

付属部品の確認

- ・付属の木ネジ(2本)があることを確認してください。



調整ツマミの設定について

- ・この器具は取り付け後、ご使用の環境に合わせてセンサの検知範囲、調整ツマミの設定が必要です。必ず、「検知範囲と調整ツマミを設定する」をお読みのうえ、設定してください。

各部のなまえと取り付けかた

安全のため、電源を切ってから行ってください

取り付け前の準備

- ①カバーを外す
- ②ランプを外す
 - ・ランプに貼ってある梱包テープ(青テープ)をはがしてランプを外してください。



1 本体を取り付ける

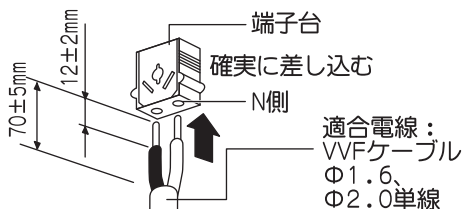
- ・取付方向表示に従い補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で取り付けてください。
- ・器具取付ピッチ 66.7mm

注意

- 器具表示の指定方向に従って取り付ける
守らないと、火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

2 端子台に電源線を接続する

- ・ランプに触れないように電源線の処理を行ってください。接続が不完全な場合火災の原因となることがあります。

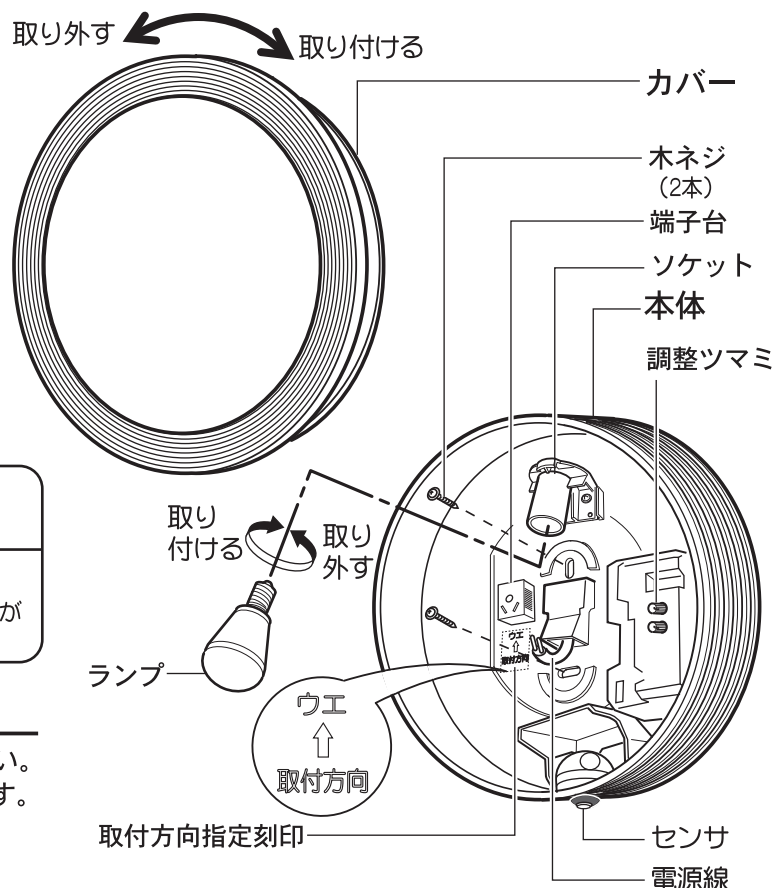
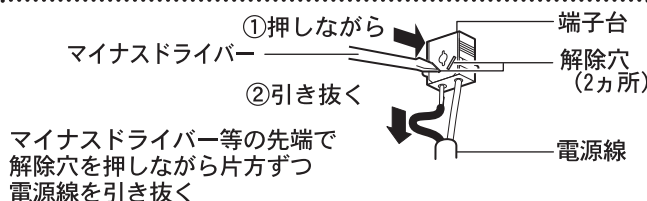


- ・電源線にポリエチレン系絶縁体を使用したEM(エコマテリアル)ケーブルをご使用の場合、表面の劣化を考慮し、端末部付近の絶縁体露出部を黒テープなどで保護してください。

注意

- 電源線はランプに触れないようにする
守らないと、火災、感電の原因となることがあります。

電源線の外しかた



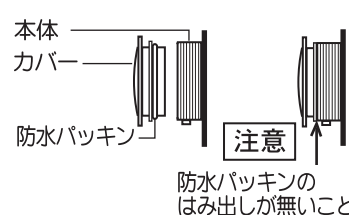
3 ソケットにランプを取り付ける

4 検知部の調整と調整ツマミを設定する

- ・「検知範囲と調整ツマミを設定する」(4ページ)を参照して設定してください。

5 カバーを取り付ける

- ①カバーを本体にはめ込み
 - ②止まるまで右へ回す
- 防水パッキンがきちり本体に納まっている事を確認してください。



警告

- 防水パッキンをきちり本体に納め、カバーは確実に取り付ける
取り付けが不完全な場合浸水、不点のおそれがあります。

検知範囲と調整ツマミを設定する

昼間でも設定できます。

設定の前のご注意

- (1)壁スイッチをOFFにする
- (2)カバーを取り外す

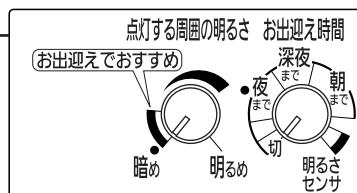
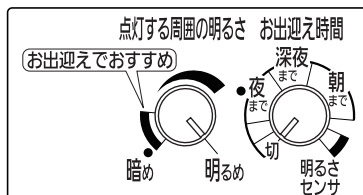
☞ 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」参照

1 センサの検知範囲を調整し、点灯確認をする

出荷時の設定

【手順】

- (1)あらかじめ、調整ツマミを以下の設定にする



点灯する周囲の明るさ——「明るめ」（右いっぱいにはずす）
お出迎え時間——「切」（左いっぱいにはずす）

- (2) 検知部を動かし、設置場所に合わせて検知範囲を調整する

- 検知部は、全方向に約20度動きます。
- センサの検知範囲は、☞ 2ページ「センサの検知範囲」を参照ください。

- (3)壁スイッチをONにし、センサの検知範囲の外に出る

➡ 約40秒間点灯してから消灯します。

消灯しない場合は、以下の原因が考えられます。

- お出迎え時間が「切」になっていない ⇒ お出迎え時間を「切」にする
- センサの検知範囲に入っている ⇒ センサの検知範囲から外に出る
- 連続点灯になっている ⇒ 壁スイッチを一度OFFにし、5秒以上おいて再び壁スイッチをONにする

- (4)消灯したら器具に近づいて、点灯することを確認する

- センサの検知範囲の外に出てから約5秒後に消灯します。

2 使いかたに合わせて調整ツマミを設定する

- いったん壁スイッチをOFFにしてください。

以下の3種類の使い方ができます。（詳しくは ☞ 取扱説明書3ページ）

使いかた	お出迎えモード	ON / OFFモード	明るさセンサモード
動作	暗くなったら点灯 設定時刻になると消灯 設定時刻以降は人が近づいたときに点灯	暗くなって、人が近づいたときに点灯	暗くなったら点灯 明るくなったら消灯
おすすめのツマミ設定			
詳しい設定方法	☞ 取扱説明書4ページ	☞ 取扱説明書5ページ	☞ 取扱説明書6ページ

3 カバーを取り付ける

☞ 3ページ「各部のなまえと取り付けかた」5参照

4 壁スイッチをONにする

➡ スイッチONにした直後は周囲の明るさに関係なく、約40秒間点灯します。

ご注意●お出迎えモードに設定した場合

壁スイッチをONにした初日は、手順2で設定した「お出迎え時間」ツマミの位置に関係なくお出迎え点灯は約4時間で終了します。翌日より設定した時刻通り終了します。